



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月24日

東

上場会社名 石原ケミカル株式会社

上場取引所

コード番号 4462

URL <http://www.unicon.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 時澤 元一

問合せ先責任者（役職名） 経理部長

（氏名） 山本 直哉

（TEL）078-681-4801

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日

平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,633	△8.8	395	△10.6	467	△5.8	327	△1.0
26年3月期第2四半期	8,374	4.9	442	14.9	496	19.7	330	231.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	43.88		—					
26年3月期第2四半期	44.31		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,812	14,998	79.7
26年3月期	18,292	14,621	79.9

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 14,998百万円 26年3月期 14,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	2.0	1,110	34.9	1,180	18.7	810	21.1	108.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期2Q	7,460,440株	26年3月期	7,460,440株
27年3月期2Q	280株	26年3月期	280株
27年3月期2Q	7,460,160株	26年3月期2Q	7,460,160株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和を背景に円安、株高傾向が続き、企業収益や雇用情勢が改善するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、個人消費については、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や輸入原材料の価格上昇などの影響により、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況下、当社におきましては自動車用化学製品等セグメントが伸びを示したものの、金属表面処理剤及び機器等、電子材料、工業薬品セグメントは前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高7,633百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益395百万円（前年同四半期比10.6%減）、経常利益467百万円（前年同四半期比5.8%減）、当期純利益327百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

<金属表面処理剤及び機器等>

一般電子部品用めっき液は、国内市場では半導体製造事業の縮小などにより需要は低迷を続けております。また、海外市場ではTV及びIT家電でのローカルメーカーの台頭により低価格化が進み、日系メーカーがシェアを落とすなか当社のめっき液の需要も低調に推移しました。

一方、先端電子部品用ウエハーバンプめっき液は、台湾のファンダリー企業を中心にスマートフォン、タブレット関連の需要に支えられ堅調に推移しましたが、韓国の大口ユーザーでの生産減の影響により、前年同期を下回る結果となりました。

これらの結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、4,210百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

<電子材料>

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況が上向いてきたものの前年同期の水準までには達していません。

一方、機能材料加工品は、大口ユーザーを中心に需要が好調に推移しました。また、テストソケット（IC等半導体の検査装置用部品）も好調に推移し前年同期を上回る結果となりました。

これらの結果、電子材料の売上高は、387百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

<自動車用化学製品等>

エアコン洗浄剤は、新規カーディーラーを獲得し引き続き好調に推移しました。また、補修用コンパウンドも新製品を投入し順調に推移いたしました。

これらの結果、自動車用化学製品等の売上高は、1,123百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

<工業薬品>

当社の高級鋼板向け特殊薬剤は、需要先鉄鋼メーカーのコストダウン目的による使用量削減により需要が伸び悩みました。また、鉄鋼メーカー向け基礎薬剤である苛性ソーダは、メーカーの価格政策により上期につきましてはシェアを落とすこととなりました。

これらの結果、工業薬品の売上高は、1,911百万円（前年同四半期比14.2%減）となりました。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,023,785	2,944,400
受取手形及び売掛金	3,097,940	3,024,421
電子記録債権	163,419	199,492
有価証券	302,335	502,311
商品及び製品	421,036	469,320
仕掛品	37,915	50,164
原材料及び貯蔵品	308,361	377,721
その他	243,841	247,922
貸倒引当金	△326	—
流動資産合計	7,598,309	7,815,755
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,048,625	2,000,192
その他(純額)	1,797,038	1,867,390
有形固定資産合計	3,845,663	3,867,582
無形固定資産		
	46,137	54,849
投資その他の資産		
投資有価証券	5,170,960	5,282,607
その他	1,633,905	1,794,591
貸倒引当金	△2,431	△2,430
投資その他の資産合計	6,802,435	7,074,768
固定資産合計	10,694,237	10,997,200
資産合計	18,292,546	18,812,955
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,355,715	2,453,778
1年内返済予定の長期借入金	8,000	58,000
未払法人税等	219,188	148,393
賞与引当金	168,894	171,000
役員賞与引当金	52,800	26,400
その他	387,548	380,005
流動負債合計	3,192,146	3,237,577
固定負債		
長期借入金	—	19,000
資産除去債務	38,512	38,512
その他	440,021	519,527
固定負債合計	478,534	577,040
負債合計	3,670,681	3,814,618

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,741,909
利益剰余金	11,061,813	11,277,231
自己株式	△290	△290
株主資本合計	14,250,713	14,466,131
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	371,151	532,206
評価・換算差額等合計	371,151	532,206
純資産合計	14,621,865	14,998,337
負債純資産合計	18,292,546	18,812,955

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,374,049	7,633,270
売上原価	6,234,982	5,571,315
売上総利益	2,139,066	2,061,954
販売費及び一般管理費		
報酬給与手当及び賞与	385,319	346,351
賞与引当金繰入額	81,289	91,060
役員賞与引当金繰入額	26,400	26,400
退職給付引当金繰入額	12,980	9,497
研究開発費	471,553	460,986
貸倒引当金繰入額	25	—
その他	718,701	731,940
販売費及び一般管理費合計	1,696,269	1,666,236
営業利益	442,797	395,718
営業外収益		
受取利息	1,274	1,460
有価証券利息	15,432	21,106
受取配当金	19,401	20,874
為替差益	5,423	23,633
その他	24,140	17,477
営業外収益合計	65,671	84,551
営業外費用		
支払利息	1,143	1,164
コミットメントフィー	9,160	9,160
売上割引	851	1,432
その他	1,021	1,028
営業外費用合計	12,176	12,786
経常利益	496,292	467,482
特別利益		
固定資産売却益	151	—
特別利益合計	151	—
特別損失		
固定資産除却損	14,068	256
特別損失合計	14,068	256
税引前四半期純利益	482,375	467,226
法人税等	151,833	139,906
四半期純利益	330,541	327,319

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	482,375	467,226
減価償却費	182,061	185,777
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,474	△327
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,000	2,105
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,000	△26,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△269,096	—
受取利息及び受取配当金	△36,418	△43,574
支払利息	1,143	1,164
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
為替差損益(△は益)	592	△6,183
固定資産売却損益(△は益)	△151	—
固定資産除却損	9,989	256
売上債権の増減額(△は増加)	△259,550	37,446
たな卸資産の増減額(△は増加)	145,363	△129,892
仕入債務の増減額(△は減少)	127,222	98,062
その他の流動資産の増減額(△は増加)	6,911	1,571
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△26,455	△33,947
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△3,748	△114,587
その他の固定負債の増減額(△は減少)	289,500	—
小計	641,264	438,696
利息及び配当金の受取額	35,196	43,280
利息の支払額	△1,143	△1,164
法人税等の支払額	△70,939	△210,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,378	269,826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,000	△56,000
定期預金の払戻による収入	9,000	—
有価証券の取得による支出	△303,578	△150,097
有価証券の売却及び償還による収入	193,444	92,925
有形固定資産の取得による支出	△365,515	△152,373
有形固定資産の売却による収入	180	—
無形固定資産の取得による支出	△7,635	△21,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481,104	△286,645

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△350,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△12,000	△31,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△35,397	△25,931
配当金の支払額	△111,928	△111,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159,326	△68,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	△592	6,183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,645	△79,384
現金及び現金同等物の期首残高	2,339,307	1,673,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,302,662	1,594,400

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。